

東工大教育ポリシー

本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次のwebサイトに掲載中です。

[教育ポリシー] << [東工大の方針] << [東工大について] << [本学HPトップ]

<http://www.titech.ac.jp/about/policies/education/index.html>

教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに応えるべく、本学では、

- ・確かな専門力
- ・豊かな教養力
- ・柔軟なコミュニケーション力
- ・以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロンランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロンランナー」を養成します。

《学士課程》 「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」

学士課程では、基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します

皆さんが2年目以降に所属する系では、具体的に「人材養成の目的」、「学修目標」（ディグリー・ポリシーに該当するもの）、「学修内容」（カリキュラム・ポリシーに該当するもの）を明記しています。卒業するまでにどのような力をつけなければならないか、系ではどのような学修を行うのか、あらかじめ確認したうえで学修に臨んでください。